

自宅で膝枕 ○

『あ、目 覚めましたか?』

『あれ?

起き、起きてます…よね?』

『おーい』

『あ、おはようございます』

『ふふっ、きょろきょろして
混乱してますね』

『ここ、私の家ですよ

そしてそこは私の膝です』

『わわっ、別にそのままでもよかつたのに…』

『もうやめてほんとうにいいんですかあ?』

『私の膝枕、寝てて堪能できてないんじゃないですか?』

『もうこれつきりかもしませんよ』

『次はもうしてもらえないかも』

『ほーら、おにい?』

『ふふっ、素直でよろしい』

『さ、どうぞ』

『失礼しますつて w

なんでそんなよそよそしいんですか』

『もしかして、私に膝枕されてるのが恥ずかしい、とか?』

『今日ぐらい茶化したりしないので遠慮せずゆっくりしてください』

『ほんとですって

それに…膝枕だけじゃなくて頭も撫でてあげます』

『おにい最近ずっと忙しいみたいだし

労わってあげたいの』

『…だめ?』

『ふふっ、今日のおにいは本当に素直で可愛いですね』

『ではあたま、なでなでしてあげます』

『よししょし、いいこいいこ

えらいえらい』

『え、ああごめんなさい

おにいが子供に見えたからつい』

『いやなら普通になでなでしますけど…』

『よし、よし、なで、なで〜』

『おにいはいつも頑張つててえらいです

でも頑張りすぎなのは少し心配です』

『その、おにいさえよければですが

またこうして、おにいを甘やかして?えっと、癒してあげたいです』

『べつ、別に膝枕じゃなくてマッサージとかそういうのでも全然!』

『うん、ありがとう』

『あれ、また眠たくなつておやじいました?』

『ああいえ、私は別に構いませんが…』

『いいですよ、そのまま寝てしまつても
はい、1時間ぐらいしたら起りますし』

se

『ん?

おにいが寝るなら私もこのままぐっすりしようと眺めて、
それで眼鏡を外しただけです』

『ほーら、変なこと気にしてないで寝てください』

『はい、おやすみなさい』

『…ちゅ』

『…～～//』